

〈特集「モダリティ」〉

バスク語のモダリティ Modality in Basque

石塚 政行¹, 吉成 奏慧²
Masayuki Ishizuka, Kanae Yoshinari

1 東京農工大学

Tokyo University of Agriculture and Technology

2 東京外国語大学言語文化学部

School of Language and Culture Studies, Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は、『語学研究所論集』第16号(2011, 東京外国語大学)の特集「モダリティ」におけるアンケート項目に対するバスク語のデータ, その簡単な解説およびコメントを提供する。

Abstract: This document provides Basque language data for the questionnaire from the featured theme “Modality” in the *Journal of the Institute of Language Research* No. 16 (2011, Tokyo University of Foreign Studies), along with brief explanations and comments.

DOI: <https://doi.org/10.15026/0002000375>

キーワード: モダリティ バスク語

Keywords: Modality, Basque

1. はじめに

本稿のデータは、『語学研究所論集』第16号の特集「モダリティ」の調査項目を, スペインバスク地方ビスカヤ州出身のバスク語標準語(ビスカヤ方言の影響あり)の話者の方(1990年生まれ)にスペイン語から訳していただいたものである。媒介言語としてのスペイン語の文については, 本論集の特集データのスペイン語のものを用いたのでそちらを参照されたい。

2. データおよびコメント

以下, データを調査項目ごとに提示し, コンサルタントおよび石塚のコメントを付す。「C:」から始まるコンサルタントによる注記は, 話者が英語で書いてくださったものを吉成が日本語に訳し, 石塚が適宜編集したものである。「MI:」から始まる注記は石塚のものである。各節冒頭には調査項目の日本語原文を掲げた。バスク語文の日本語訳は, 原文と文意が異なる場合のみ明記した。



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

2.1. 許可

「(その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ」

- (1) (*Lan hori amai-tu-takoan*) *etxe-ra joan za-ite-zke.*
 (work that(MED)[SG.ABS] finish-PFV-after) house[SG]-ALL go PRS.2[SG]ABS-INTR(NIND)-POT

MI: 可能法現在形 (=動詞原形+助動詞可能法現在形).

2.2. 禁止

「(腐っているから, あなたは) それを食べてはいけない/それを食べるな」

- (2) a. *Hori ezin da jan.*
 that(MED)[SG.ABS] NEG.POT PRS.3[SG]ABS.INTR be.eaten.INF
 「それは食べられない」
 b. *Ez jan hori.*
 NEG eat.INF that(MED)[SG.ABS]
 「それを食べるな」
 c. *Ez e-za-zu hori jan*
 NEG IMP.3[SG]ABS-TR(NIND)-2SG.ERG that(MED)[SG.ABS] eat
 「それを食べるな」

MI: (2a) は否定辞 *ezin* 「できない」による不可能表現. *jan* 「食べられる」は (2b, c) の *jan* 「食べる」の自動詞化. (2b) は不定詞による非定形の命令表現. (2c) は動詞原形+助動詞命令法による定形の命令表現.

2.3. 義務

「遅くなったので 私たちはもう帰らなければならない」

- (3) (*Berandu egin zai-gu eta*) *etxe-ra itzul-i behar gara.*
 (late become.PFV PRS.3SG.ABS.INTR.DAT-1PL and) house[SG]-ALL return-INF DEO PRS.1PL.ABS.INTR
 「遅くなったので私たちは家に戻らなければならない」

MI: 補助動詞 *behar* 「～しなければならない」が用いられている. *behar* は標準的には他動詞だが, ここでは補語となる *itzuli* 「戻る」が自動詞であることから, 全体が自動詞節となっている. このような他動性の一致については de Rijk (2008: 332) などを参照.

2.4. 推奨

「(雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ」

- (4) (*Euri-a ari d-u-enez*)
 (rain-SG[ABS] do.INF PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]-since)

hobe d-u-zu euritako-a eraman.
 good.CMPR PRS.3[SG]ABS-have-2SG[ERG] umbrella-SG[ABS] take.INF
 「雨が降っているから, 傘を持って行ったほうがよい」

MI: 形容詞 *hobe* (on 「良い」の比較級) + 他動詞 *izan* 「持つ」で, 「あなたは~することをより良いものとして持つ=~したほうがよい」の意. 不定詞節が *izan* の目的語, *hobe* はそれに対する二次述語と分析できる. ただし, *hobe* は動詞として再解釈されている可能性もある.

2.5. 評価的義務

「歳をとったら, 子供の言うことを聞くべきだ/聞くものだ」

(5) a. *Zahar-tze-an,*

get.old-GER-[SG]LOC
ume-e-k d-io-te-n-a entzun behar da.
 child-PL-ERG PRS.3[SG]ABS-say-3PL.ERG-REL-SG[ABS] be.listened.INF DEO PRS.3[SG]ABS.INTR

b. *Zahar-tzen zar-enean,*

get.old-IPFV PRS.2[SG]ABS.INTR-when
ume-e-k d-io-te-n-a entzun behar d-u-zu.
 child-PL-ERG PRS.3[SG]ABS-say-3PL.ERG-REL-SG[ABS] listen.INF DEO PRS.3[SG]ABS-TR-2SG.ERG

C: (5a) は無人称, (5b) は「あなたは」.

MI: いずれも 2.4. 〈義務〉と同じく *behar* が用いられている. (5a) の *entzun* 「聞かれる」は (5b) の *entzun* の自動詞化で, 動作主 (聞き手) は削除され「一般に人は~」という意味になっている.

2.6. 希望

「お腹が空いたので, (私は) 何か食べたい」

(6) *Gose na-iz-enez zerbait jan nahi d-u-t.*
 hungry PRS.1SG.ABS-be-since something[ABS] eat.INF DES PRS.3[SG]ABS-TR-1SG.ERG

MI: 補助動詞 *nahi* 「~したい」が用いられている.

2.7. 意志

「私が持ちましょう」

(7) *Ni-k har-tu-ko d-i-zu-t.*
 1SG-ERG take-INF-FUT PRS.3[SG]ABS-TR.DAT-2SG-1SG.ERG

MI: 未来分詞+助動詞現在形からなる未来形が用いられている. 意志を表す特別な形式ではない.

2.8. 勧誘

「じゃあ, 一緒に昼ご飯を食べましょう」

- (8) a. *G-oa-z-en elkarr-ekin ja-te-ra.*
 PRS.1PL.ABS-go-PL.ABS-COMP each.other-COM eat-GER-ALL
 「一緒に食べに行きましょう」
- b. *Jan de-za-gu-n elkarr-ekin.*
 eat PRS.3[SG]ABS-TR(NIND)[SBJV]-1PL.ERG-COMP each.other-COM
 「一緒に食べましょう」

MI: いずれも、補文化辞 *-(e)n* を用いた勧誘法である。(8a) は動詞 *joan* の単純現在形で、直説法と接続法の区別はない。(8b) は複合形で、動詞原形+助動詞接続法現在形である。

2.9. 相手の意向が不明な場合の勧誘

「一緒に昼ご飯を食べませんか？」

- (9) *Jan-go d-u-gu elkarr-ekin?*
 eat.INF-FUT PRS.3[SG]ABS-TR-1PL.ERG each.other-COM
 「一緒に食べませんか」

MI: 2.7. 〈意志〉と同じく未来分詞+助動詞現在形からなる未来形が用いられている。

2.10. 希望 (願望)

「明日、良い天気になるといいなあ／明日は良い天気になってほしいなあ」

- (10) a. *Ea bihar eguraldi on-a egi-ten d-u-en...!*
 OPT tomorrow weather good-SG[ABS] do-IPFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]-COMP
 「明日良い天気になりますように」
- b. *Espero d-u-t bihar eguraldi on-a egi-te-a.*
 hope PRS.3[SG]ABS-have-1SG.ERG tomorrow weather good-SG[ABS] do-GER-SG[ABS]
 「明日良い天気になることを望みます」

MI: (10a) は希求の不変化詞 *ea* と補文を用いた構文。主節は存在しない。(10b) は *espero izan* 「希望する」を用いた複文。補文には動名詞が用いられている。

2.11. 命令

「(私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい」

- (11) (*Ni hemen egon-go na-iz itxaro-te-n, beraz*)
 (1SG[ABS] here be.there.INF-FUT PRS.1SG.ABS-INTR wait-GER-LOC so)
z-oa-z eta ekarr-i e-za-zu hori bizkor.
 PRS.2[SG]ABS-go-PL.ABS and bring-IMP.3[SG]-TR(NIND)-2SG.ERG that(MED)[SG.ABS] fast

MI: *zoaz* は動詞 *joan* 「行く」の現在形で、命令法として用いられている。*ekarri ezazu* は不定詞 (標準的

には動詞原形) + 助動詞命令法.

2.12. 懇願

「そのペンをちょっと貸していただけませんか？」

- (12) *Boligrafo hori utz-i-ko zen-i-da-ke?*
 ballpoint.pen that(MED)[SG.ABS] lend-INF-FUT NPRS.2[SG]ERG-TR.DAT-1SG-CND

MI: 条件法現在形 (未来分詞+助動詞の条件法現在形).

2.13. 能力可能

「あの人は中国語が読めます／あの人は中国語を読むことができます」

- (13) a. *Horr-ek txiner-a irakur-tze-n da-ki.*
 that(MED)SG-ERG Chinese-SG[ABS] read-GER-LOC PRS.3[SG]ABS-know.how.to[3SG.ERG]
 「あの人は中国語の読み方を知っています」
 b. *Horr-ek txiner-a irakurr-i ahal d-u.*
 that(MED)SG-ERG Chinese-SG[ABS] read-INF POT PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]
 「あの人は中国語を読むことができます」

MI: (13a) は動詞 *jakin* 「～の仕方を知っている」を用いた能力可能専用の形式. (13b) は小辞 *ahal* 「できる」を用いた可能表現で, 能力可能専用ではない.

2.14. 状況可能

「明かりが暗くて, ここに何が書いてあるのか, 読めない」

- (14) *Ilun-egi da-go eta ezin d-u-t hemen zer d-io-en irakurr-i.*
 dark-EXC PRS.3[SG]ABS-be.there and
 NEG.POT PRS.3[SG]ABS-TR-1SG.ERG here what[ABS] PRS.3[SG]ABS-say[3SG.ERG]-COMP read-INF

MI: 否定辞 *ezin* 「できない」を用いた不可能表現.

2.15. 確信

「(朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない」

- (15) (*Goiz irten dir-enez,) jadanik hel-du-ak behar dira.*
 (early leave.PFV PRS.3PL.ABS.INTR-since) already arrive-PFV-PL[ABS] CER PRS.3PL.ABS.INTR
 「(早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ」

MI: 2.3. 〈義務〉, 2.5. 〈評価的義務〉を表す補助動詞 *behar* が「～するはずだ」の意味で用いられている. 不定詞がなく, 形容詞的完了分詞を直接に補語としている点が注目される.

2.19. 視覚／聴覚以外の感覚による判断

「(額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ」

- (19) a. *Ba=d-irudi* *sukarr-a* *d-u-zu-la.*
 AFF=PRS.3[SG]ABS-seem[3SG.ERG] fever-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have-2SG.ERG-COMP
 b. *Ema-ten d-u* *sukarr-a* *d-u-zu-la.*
 seem-IPFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG] fever-SG[ABS] PRS.3[SG]ABS-have-2SG.ERG-COMP

MI: (19a) は動詞 *irudi* 「～のようだ」の単純現在形, (19b) は動詞 *eman* 「～のようだ」の複合現在形 (不完了分詞+助動詞現在形). *irudi* は名詞 *irudi* 「絵, 姿」と関連する. *eman* は「与える」が基本義.

2.20. 伝聞

「(天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ」

- (20) *Bihar euri-a egin-go omen d-u.*
 tomorrow rain-SG[ABS] do.INF-FUT HRS PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]

MI: 未来形 (未来分詞+助動詞現在形) とともに伝聞の法助詞 *omen* が用いられている. 法助詞は定動詞の直前に置かれ, 他に確信の *bide* 「～にちがいない」, 願望の *ahal* 「～してほしい」, 疑問の *al* 「～か」, 疑念の *ote* 「～だろうか」がある.

2.21. 反実仮想

「もしお金があつたら, あの車を買うんだけどなあ」

- (21) *Diru-a ba-n-u*
 money-SG[ABS] if-NPRS.1SG.ERG.3[SG]ABS-TR
kotxe hori eros-i-ko n-u-ke.
 car that(MED)[SG.ABS] buy-INF-FUT NPRS.1SG.ERG.3[SG]ABS-TR-CND

MI: 前件は条件法単純仮定形, 後件は条件法現在形 (未来分詞+助動詞条件法現在形).

2.22. 反実仮想過去

「もしあなたが教えてくれていなかったら, 私はそこにたどり着けなかったでしょう」

- (22) *Ez ba-zen-i-t zu-k erakuts-i,*
 NEG if-NPRS.2[SG].ERG.3[SG]ABS-TR.DAT-1SG2SG-ERG show-PFV
ez nin-tza-ke-en hel-du-ko.
 NEG NPRS.1SG.ABS-INTR-CND-PST arrive-INF-FUT

MI: 前件は条件法過去仮定形 (完了分詞+助動詞条件法仮定形), 後件は条件法過去形 (未来分詞+助動詞条件法過去形).

2.23. 三人称の主体による希望

「(あの人は) 街へ行きたがっている」

- (23) *Hiri-ra joan nahi d-u.*
 city-[SG]ALL go.INF DES PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]

MI: 2.6. (一人称の主体による)〈希望〉と同じく, 補助動詞 *nahi* 「～したい」が用いられている.

2.24. 一人称命令

「僕にもそれを少し飲ませろ」

- (24) a. *Utz-i-da-zu pixka bat eda-te-n.*
 let-DAT-1SG-2SG.ERG little a drink-GER-LOC
 b. *Utz ie-za-da-zu pixka bat eda-te-n.*
 let IMP.3[SG]ABS.DAT-TR(NIND)-1SG-2SG.ERG little a drink-GER-LOC

MI: いずれも許容使役の動詞 *utzi* が用いられている. (24a) は単純命令形, (24b) は複合命令形 (動詞原形+助動詞命令形).

2.25. 三人称命令

「これはあの人に持って行かせろ/持って行かせよう」

- (25) a. *Hau horr-ek eraman de-za-la.*
 this[SG.ABS] that(MED)SG-ERG take.away PRS.3[SG]ABS-TR(NIND)[SBJV]-COMP
 「これはあの人を持って行くように」
 b. *Esa-i-o-zu horr-i hau erama-te-ko.*
 tell-DAT-3SG-2SG.ERG that(MED)SG-DAT this[SG.ABS] take.away-GER-PUR
 「あの人にこれを持って行くように言いなさい」

C: (25a) は接続法で, スペイン語の “que lo lleve él” に相当. (24b) は「持って行くように言いなさい」の意.

MI: (25a) は補文化辞 *-la* を用いた三人称命令法で, 接続法現在形 (動詞原形+助動詞接続法現在形) が用いられている. (25b) は動詞 *esan* 「言う」の単純命令形と動名詞の目的格によって, 「～するように言え」という表現になっている.

2.26. 遠未来命令形

「そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい」

- (26) *Mahai gain-eko gozoki-a gero jan e-za-zu.*
 table top-[SG]LGEN candy-SG[ABS] later eat IMP.3[SG]ABS-TR(NIND)-2SG.ERG

MI: 複合命令形 (動詞原形+助動詞命令形). 「後で」の意味は副詞 *gero* で表されている.

2.27. 反実仮想 (後悔)

「もっと早く来ればよかった」

(27) a. *Goiz-ago etorr-i behar nin-tz-en.*
 early-CMPR come-INF DEO NPRS.1SG.ABS-INTR-PST
 「もっと早く来るべきだった」

b. *Goiz-ago etorr-i ba-nin-tz...*
 early-CMPR come-PFV if-NPRS.1SG.ABS-INTR
 「もっと早く来ていれば…」

C: (27b) は “If only I had come earlier…” のような後半が略された文.

MI: (27a) は, 2.3. 〈義務〉や 2.5. 〈評価的義務〉と同じく補助動詞 *behar* (ここでは単純過去形) が用いられている. (27b) は条件節の独立用法で, 動詞は条件法過去仮定形 (完了分詞+助動詞条件法仮定形) である.

2.28. 脱従属化

「あなたも一緒に行ったら (どうですか) ?」

(28) *Zergatik ez z-oa-z ber-a-rekin?*
 why NEG PRS.2[SG]ABS-go-PL.ABS 3-SG-COM
 「あなたも彼 (女) と行ったらどうですか？」

MI: 英語 “Why not?” 型の提案表現. 脱従属化の例ではない.

2.29. (疑問詞を含まない) 反語

「オレがそんなこと知るか！」

(29) *Ni-k zer da-ki-t ba!*
 1SG-ERG what[ABS] PRS.3[SG]ABS-know-1SG.ERG EMPH
 「いったい私が何を知っているというのか！」

MI: 疑問代名詞 *zer* 「何」が用いられている. 副詞 *ba* は「いったい」という感じで疑問詞疑問文を強調する.

2.30. 付加疑問

「これを作った (料理した) のは, お母さんだよね? / いいえ, 私が作ったのよ」

(30) a. *Janari hau zu-re am-a-k egin d-u, ezta?*
 meal this[SG.ABS] 2-SG.PGEN mother-.SG-ERG make.PFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG] TAGQ

– *Ez, ni-k egin d-u-t.*

no 1SG-ERG make.PFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]

「この料理はあなたのお母さんが作ったんですね？」「いいえ、私が作りました」

b. *Janari hau egin d-u-en-a*

meal this[SG.ABS] make.PFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]-REL-SG[ABS]

zu-re am-a izan da, ezta?

2-SG.PGEN mother-.SG[ABS] be.PFV PRS.3[SG]ABS.INTR TAGQ

– *Ez, ni-k egin d-u-t.*

no 1SG-ERG make.PFV PRS.3[SG]ABS-TR[3SG.ERG]

「この料理を作ったのはあなたのお母さんですね？」「いいえ、私が作りました」

C: (30b) のほうが日本語に近いが、どちらかというとも (30a) の方が会話に使いそう。

MI: いずれも付加疑問標識として *ezta* が用いられている。 *ezta* は *ez da* 「～ではない (か)」に由来する。

(30a) は単純な疑問文、(30b) は関係節を用いた一種の分裂文。

執筆者連絡先 : ishizuka@go.tuat.ac.jp, yoshinari.kanae.t0@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2023 年 12 月 17 日